

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2009. 12. 25)

- 2009年10~12月期実績と2010年1~3月期及び2010年4~6月期予想 -

京 都 商 工 会 議 所

担当：中小企業経営相談センター

電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

自社業況は持ち直しつつも依然低水準
～中小企業中心に先行き慎重な見通し～

概 要

自社業況は▲2.2と一段とマイナス幅を縮小した。

引き続き、大企業製造業中心に生産・売上の回復が進んでおり、また季節的な要因もあって小売業や旅館・ホテルなどの観光関係や食料品関係でも受注や売上が改善している。生産・売上高の指標は今期2年振りにプラスに転じており、大企業中心に企業収益改善の兆しも見られる。

しかしながら、依然として受注・売上の不振がほとんどの企業で経営上の大きな課題となるなど、低水準での改善との見方が強く、とりわけ中小企業では各指標とも厳しい見方が目立っている。さらにデフレや為替問題、低調な設備投資動向など、足もとの不透明感を反映して先行きは水面下の動きにとどまり、全体として持ち直し基調にはあるとはいえ慎重な見通しとなっている。

(注) 11月下旬から12月上旬にかけ同調査を実施し、612社中519社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また10~12月期のBSI値は、2009年7~9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

10~12月期のBSI値は、▲9.5(前期実績▲8.3)と下降傾向で推移し、慎重な景況感となった。今後の2010年1~3月期は不需要期にあたることから停滞感が強まる一方、続く4~6月期は▲3.3と持ち直しを見せる見通しとなっている。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 10~12月期のBSI値は、▲2.2(前期実績▲17.6)と幾分下降したもののさらにマイナス幅を縮小し、前期に続き持ち直し傾向を見せた。今後の2010年1~3月期は▲17.4と弱含みで推移する一方、続く4~6月期は▲6.1と持ち直し基調で推移する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 10~12月期のBSI値は、季節的要因もあって1.6と増加に転じた。今後の見通しについて業種別に見ると、2010年1~3月期は、製造業の窯業・土石や一般機械、サービス業の情報・事業で増加を見通すものの、ほとんどの業種で減少を見通しており、続く4~6月期も多くの業種で減少を予想するものの、全体的にはマイナス幅を縮小する見通しとなっている。

2. 製・商品・サービス・請負価格 10～12月期のBSI値は、▲11.3（前期実績▲11.6）とさらに下降を続けた。今後の見通しについて業種別に見ると、2010年1～3月期は、旅館・ホテルや製造業の鉄鋼、小売業や建設業、不動産業などで二桁の下降を見通し、続く4～6月期もほとんどの業種で下降を続ける見通しとなっている。
3. 経常利益 10～12月期のBSI値は、▲3.8と、マイナス幅を狭めたものの、引き続き減益傾向で推移した。今後の見通しについて規模別に見ると、大企業、中小企業とも減益基調を見通す一方、とくに中小企業の減益傾向が強く、規模間で大きな差が見られる。
4. 所定外労働時間 10～12月期のBSI値は、3.2と幾分増加した。今後の見通しについて業種別に見ると、2010年1～3月期は、不需要期にあたることから旅館・ホテル、食料品卸、運輸・倉庫業をはじめ製造業の鉄鋼、食料品など多くの業種で減少を見通し、続く4～6月期も、建設業や小売業、製造業の繊維製品、窯業・土石、精密機械、染色など多くの業種で減少を続ける見通しとなっている。
5. 製・商品在庫 10～12月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が75.0%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、繊維製品製造、繊維製造、繊維卸など繊維関係業種で引き続き過剰感が見られた。今後については、繊維関係では一部過剰感が残るものの全体として過剰感がやわらぎ概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 10～12月期のBSI値は、▲5.1とマイナス幅を狭めたものの悪化傾向で推移した。今後の見通しについて規模別に見ると、大企業・中小企業ともに引き続き悪化傾向を見通すものの、とくに中小企業の悪化懸念が目立ち、規模間で差が見られる。

Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(81.3%)が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」(30.3%)で、第3位に「製・商品(請負)価格安」(30.1%)、第4位に「人件費負担増大」(15.6%)、第5位に「取引条件の問題(9.8%)」「マーケティング力不足(9.8%)」が並んで続いた。1位から4位までは前回調査と同順位となり、前回6位の「マーケティング力不足」、前回7位の「取引条件の問題」がそれぞれ5位へと順位を上げた。

国内景気	実績			予想						
	2009年10～12月期			2010年1～3月期			2010年4～6月期			
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	
総計	▲ 9.5	16.7	35.6	▲ 17.0	6.8	40.7	▲ 3.3	18.5	25.0	
規模別	大企業	▲ 7.6	17.1	32.2	▲ 13.0	8.7	34.7	3.4	23.4	16.6
	中小企業	▲ 10.3	16.5	37.1	▲ 18.6	6.1	43.2	▲ 5.9	16.6	28.4
業種別	製造業	▲ 6.4	18.5	31.3	▲ 15.0	7.6	37.5	▲ 2.5	17.0	22.0
	卸売業	▲ 10.5	17.7	38.7	▲ 14.5	9.7	38.7	2.5	25.8	20.9
	小売業	▲ 14.0	16.0	44.0	▲ 32.0	0.0	64.0	▲ 14.0	16.0	44.0
	建設業	▲ 13.9	11.1	38.9	▲ 19.5	5.6	44.5	▲ 19.4	5.6	44.4
	不動産業	▲ 10.0	15.0	35.0	▲ 15.0	5.0	35.0	5.0	20.0	10.0
	運輸・倉庫業	▲ 18.5	7.4	44.4	▲ 20.4	3.7	44.4	▲ 18.5	3.7	40.7
	サービス業	▲ 12.4	16.0	40.8	▲ 19.0	6.3	44.3	3.8	29.1	21.6

自社業況 (総合判断)	実績			予想						
	2009年10～12月期			2010年1～3月期			2010年4～6月期			
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	
総計	▲ 2.2	29.1	33.4	▲ 17.4	11.2	45.9	▲ 6.1	19.6	31.7	
規模別	大企業	3.7	33.5	26.1	▲ 10.0	18.7	38.7	▲ 2.0	23.5	27.5
	中小企業	▲ 4.5	27.3	36.3	▲ 20.5	8.0	48.9	▲ 7.8	17.9	33.4
業種別	製造業	0.6	33.5	32.4	▲ 16.4	11.6	44.4	▲ 7.6	18.4	33.5
	卸売業	▲ 3.4	25.0	31.7	▲ 20.0	8.4	48.3	▲ 1.7	23.3	26.7
	小売業	0.0	28.0	28.0	▲ 22.0	4.0	48.0	▲ 6.0	16.0	28.0
	建設業	▲ 20.9	2.8	44.5	▲ 12.5	13.9	38.9	▲ 16.7	11.1	44.4
	不動産業	▲ 15.0	20.0	50.0	▲ 12.5	15.0	40.0	▲ 10.0	10.0	30.0
	運輸・倉庫業	▲ 11.6	15.4	38.5	▲ 27.0	3.8	57.7	▲ 11.6	11.5	34.6
	サービス業	3.8	36.7	29.1	▲ 17.8	13.9	49.4	3.2	30.7	24.3

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) × $\frac{1}{2}$